

農道整備工事の創意工夫について

島田地区
株式会社 グロージオ
現場代理人・管理技術者
寺腰 諭

1.はじめに

工事概要

- (1) 工事名 平成29年度 畑地帯総合整備（担い手支援）東光寺岸地区農道2工事
- (2) 発注者 静岡県志太榛原農林事務所
- (3) 工事場所 静岡県 島田市 岸 地内
- (4) 工期 自) 平成29年09月14日
至) 平成30年03月22日

【施工箇所位置図】



【工事概要】

- ・工事延長 668.1m
- ・全幅員 4.5m
- ・土工 1式
- ・ブロック積工 655m²
- ・側溝工 PU3-300A 240.5m
- ・ガードレール Gr-C-2B 134m

※既設道路を拡幅し、担い手を支援する為の工事である。

2.現場状況

工事施工区間は、茶畑の中に位置し、一般住民の生活道路となっている。元々道路幅員は、乗用車が一台通れるくらいで、車同士のすれ違いは難しい状況である。

年間を通して茶農家の作業がある為、道路を全面通行止にすることはできず、茶農家の作業になるべく支障をきたさない様に工事を行わなければいけない。また、施工区間中に鶏小屋があり、毎日の餌やりがある為小屋への進入路も確保しなければいけない。日々散歩する人も通行するので対策を考えなければいけない。

残土処分場に搬入する土は、現場発生土（畑土）の為、道路を汚す可能性が大であり、道路清掃が必要になる。

3.問題点・要望事項

工事施工にあたり島田市、所轄警察、地元自治会、その他関係者と十分協議を行いました。

地権者宅を全件訪問し、工事内容を説明、協力を求めました。

岸地区町内回覧にて工事開始前に工事内容を説明、要望事項を確認し、対応調整を行いました。

要望事項は、

- ①先に現舗装を撤去してしまうと、車が滑り走行が出来なくなるので何とかして欲しい。（道路盤が畑土なので多分滑るのでは？）
- ②最初に伐採を行うと思うが、伐採は木を移動して車が通行できる様にするには時間がかかり、待ち時間が長くなるのでは？なるべく早く通して欲しい。
- ③鶏に餌をあげる時間は決まっているので、その時間は通行できるようにして欲しい。
- ④工事期間中には、番茶のつみとり・肥料やりがあるので、その際には茶畑への出入り口を確保して欲しい。
- ⑤既に舗装が傷んでおり、工事車両が通行すると道が落ちるのではないか？
- ⑥残土盛土場出入り口は、土を引張り道路が汚れるので、道路を汚さない様にして欲しい。

などの要望がありました。

4.対応策・改善点

- ①に対しては、既設舗装を施工ぎりぎりまで残すようにし、舗装撤去箇所には、砂利舗装（上層路盤材）を敷設し、滑らない様・土を引張らない様しました。
- ②の伐採に関しては、施工を畑仕事の無い雨天の日に行い、工事区間内各所に退避所を設置し、通行車両に支障が出ないように逃げ場を作成して樹木の倒木を行いました。
また、伐採完了後、先に路肩盛土・山留ブロック積部の切盛りを行い、道路を拡幅しました。（図-1、図-2）



図-1：路肩盛土



図-2：山留ブロック部

- ③に関しては、毎日、地権者さんに次の日の作業箇所を連絡し、その時間には、通行できるようにしました。また、地権者さんの都合で時間がいつもと違う場合は、その時間に合わせる様にしました。
- ④茶畑への出入り口施工は、番茶の時期・肥料散布の時期をずらした1月～3月になるべく施工するようにしました。ブロック積と乗入が重なる箇所については、地権者と細かい日取りなど打合せを行い、それに合わせて施工を行いました。
- ⑤既に舗装が傷んでいる箇所は、砕石で不陸を取り、鉄板にて養生しました。施工完了後、舗装を復旧しました。（図-3、図-4）



図-3：鉄板養生



図-4：舗装復旧

- ⑥盛土場入口既設道路が汚れる件に関しては、運搬前に町内会に回覧を回してもらい運搬を行った。当初は散水車にて道路清掃を行ったが、民家付近では、水が跳ねて車が汚れるとの事から、ダンプのタイヤを1本1本洗浄器にて洗浄する様にした。（図-5）



図-5：ダンプタイヤ洗浄

その他

要望にはなかったが、毎日散歩で現場内を歩かれる地権者の方がおられたが、通行時は、設置（カーゴートにて明示）してある歩行者通路を通行してもらい、必ず重機のエンジンを停止し、通過確認後、作業を再開するようにしました。

歩行者通路が確保できない箇所については、カーゴートで作業範囲を明示し、通工事は、必ず作業停止後、カーゴートを開けて通過してもらい。通過確認後、作業を再開するようにした。

5.適用結果

地元からの要望に対して、一つ一つ真摯に対応した結果、苦情・事故等も無く、無事に工事を完了することができました。

また、茶農家同士で連絡を取り合い、車両がなるべく通行しない様に調整・迂回してくれたり、工事に協力してくれる様になりました。

6.おわりに（今後の留意点）

今回の工事は、着手前から全面通行止に出来ない事、茶畑地権者の方が多く道路が狭い上に頻繁に農業車が通行する道路であること、道路が狭い為大型車両による材料搬入が出来ない事、現場内への材料置場の確保が難しい事などの課題があり、地権者の協力がなければ完成できなかったと思います。

頻繁に耕作者の方が来られるおかげで、逆に細かい打合せが出来て、材料置場なども提供して頂きました。なるべく作業の邪魔にならない様に通行も控えてくれたり、協力して頂きました。

耕作者と作業員も顔見知りになり、みんなで共通意識をもって施工が出来たと思います。

苦情もなく、円満に完工することが出来たのも協力業者様、地権者・耕作者様のおかげだと思います。

今回の工事の経験を今後の工事にも生かしていけるようにして行きたいと思いをします。